1. 導入方法と機能概要

2024 年 4 月以降の Athle32 陸上システム更新を適用すると、新バージョンのバックアップ・リスト ア機能が導入されます。この自動バックアップ機能は、新バージョンのバックアップ・リストア機能の 一部で、競技会時にサーバーにて稼働させることで、標準 30 分に1度、データのバックアップを自動 的に行う機能です。

- ・競技会中にある操作を行ったところ、データが壊れてしまったので、少し前のデータに戻って再開 したい
- ・競技会中に誤ってサーバーのデータを別の大会のデータに書き換えてしまった
- ・大会終了後にバックアップを取得したつもりだったが、上手く取得できていなかった。再度取得しようと思ったら、もう次の大会のデータに上書きされていた

などといった場合に、この自動バックアップデータを使うことで、復旧することができます。

2. 使用方法

最初の1度は手動開始する必要があります。1度導入した後は、サーバー起動後、運用ユーザー(userid 等)でサインイン(ログイン)することで自動的にバックアップが稼働します。

■導入後初回手動開始方法

2024年4月以降の Athle32 陸上システム更新適用後に必ずこの操作が1度必要です。

- 1. 陸上システムメニューを起動し【システムメンテナンス】を選択します。
- 2. パスワードを入力します。
- 3. 【7. データのバックアップ(自動)】をクリックします。



ステータス:停止中

開始中断

٤Õ

閉じる

アップ機能は開始されました。また、次回以降、サーバーの Windows に サインイン (ログイン) したときに、自動的に動作するように「スタート アップ」にも自動起動が登録されました。 5. 右図のように「ステータス:停止中」となっている場合には【開始】

ボタンを押すことで開始することもできます。

注意:自動バックアップの「現在の参照先」で表示されているデータの参照先は、サーバーから見た参照先ですので「zドライブ」とはなりません。 「E:¥AT-F」「E:¥AT(県番号)-F」などと表示されます。

■導入2回目以降の使用方法

▼自動起動(通常)

電源投入後、サインイン(ログイン)画面まで来たら Ctrl + Alt + Del キーを押し、ユーザーID(運用 ユーザーID、userid)とパスワードを入力してサインイン(ログイン)します。



デスクトップ画面が表示されると、自動的に自動バックアップソフトも起動しますので、そのまま表示したままにすると 30 分に1度バックアップを自動的に行います。

▼手動起動(一旦ソフトを終了した場合や自動的に起動しないとき等)

Athle32 陸上システムの更新版を適用する場合などは、一旦ソフトを終了する必要があります。 その場合は、更新版適用後、再度、デスクトップ画面に配置されている「自動バックアップ」アイコン をダブルクリックして、自動バックアップを稼働させる必要があります。 または、一旦 Windows をサインアウト(ログアウト)することで、再度サインイン(ログイン)すれ ば自動的に開始されます。

3. 自動バックアップデータの利用

自動バックアップされたデータは ZIP 形式で圧縮されており、サーバーの「C ドライブ」の「\$\$\$フォ ルダ」の中の「tempab」フォルダに「西暦年」–「日付」の名称でフォルダが作成されます。 ファイル名は作成時の日付.zip となります。

× +					-	×
□ → PC →	Windows (C:) > \$\$	\$ > tempab > 2	1022 >	2022の検索		Q
() ()	🖻 🗇 📬	「智え > 二 表示 >				詳細
□ 名前	^	更新日時	推频	サイズ		
0130		2022/01/30 15:39	ファイル フォルダー			
0402		2022/04/02 13:18	ファイル フォルダー			

サーバーで稼働させている場合には、作成先がサーバーの C ドライブとなりますので、クライアント PC の Z ドライブからは見たり、取得したりすることはできません。サーバー本体の画面からバックア ップデータを取得してください。

取得した ZIP 形式のバックアップデータは、クライアント PC の陸上システム、【リストア】機能で「バックアップの形式」から「ZIP 形式」を選択することで、通常のバックアップデータ同様に展開して使用することができます。